



おおと としかつ  
**大戸敏勝**さん  
 塩追出身・昭和23年生まれ  
 現住所：神奈川県相模原市在住  
 現職：行政書士

故郷は、遠くにありて想うもの

長島を後に青雲の志と大きな不安を抱きながら東京へ向かう急行「きりしま」の乗客になった私。昭和39年3月下旬のある日のことでした。

父が水俣病にかかり5年くらい寝込んでいたので、高校入学どころではない貧しい生活を送りました。幸いにも兄が東京大田区の本屋に勤めていたので、兄の援助で家財道具を揃えてもらい、アルバイトで働きながら夜間高校と大学を卒業しました。

建設機械大手の会社に10年務めた後独立し、行政書士となりました。法学部卒の経験からこの道を選び、中小企業の法務コンサルタントとして37年を迎え地域の一番店として現役で頑張っています。神奈川県行政書士会の副会長などを歴任し、72歳の現在も3人の職員とともに遺言や法的書類作成、役所との交渉などに取り組んでいます。

『町外でがんばっちょっぞ!』では、長島町出身で現在は町外に暮らしているかたを自薦・他薦を問わず募集しています。

**問い合わせ先**

役場企画財政課広報統計係  
 ☎0996(86)1134[直通]

趣味は土日百姓です。神奈川県相模原市郊外の1反の畑で、野菜を作り子や孫、知人顧客に配っています。去年はサツマイモとサトイモが豊作でした。仕事と畑仕事に精を出している昨今です。

10年に1度くらいの帰省では、乗車中に川床の上原峠から「小島」が見えてくると、通学していた小中学校時代の思い出が脳裏をかすめ「長島に帰ってきたんだな」と感慨に浸ります。

ここ長島町で仕事を起こしたかたを紹介

**開業鑑**



左から三男の和弥さん(直売店の店長)、長男の優作さん(社長・肥育担当)、次男の健作さん(副社長・生育担当)



厳選された各等級の肉が揃っています。

**長島生まれ  
長島育ちの牛肉を**

肉用牛の一貫経営を行う株式会社宮路ファームが町内で初めての産地直売店を開業しました。令和2年12月、菅牟田の高台にオープンした直売店は伊唐島などの島々が見渡せる眺望も魅力です。代表の宮路優作さん(矢堂)が話した、直売店の開業背景や思いを紹介します。

昭和57年から続く宮路ファームでは、お肉を買いたいと、町内のかたがたからの声がありました。「いつか地元で精肉店をやりたい」令和元年11月、長年の構想は急に動き出します。兄弟の和弥さんが東京の吉祥寺から帰ってきたことを機に「宮路ファーム直売店」は開業することとなりました。

直売店では長島産の黒毛和牛はもちろんのこと、選りすぐりの精肉・肉加工品を扱っています。質も価格も、直売店だからこそできる力の入れようです。「店内の黒毛和牛は雌牛を中心に扱っています」管理が難しい雌牛は、滑らかな肉質が特徴だそうです。「美味しいものを町民の皆さんに食べてもらいたい」代表の優作さんは、町のスーパリーに加えて、新しいお肉の選択肢になってほしいと話しました。

**宮路ファーム直売店**  
 開業日 令和2年12月15日  
 店舗住所 鷹巣368-7  
 「営業日」 10時～18時30分  
 ※毎月29日は特売日  
 「定休日」 水曜日  
 電話番号 (68)15229

令和3年1月に1,000頭の飼育に到達



牛肉のほか、内臓、豚肉や鶏肉なども扱っています



令和3年度中に焼肉店もオープン予定

